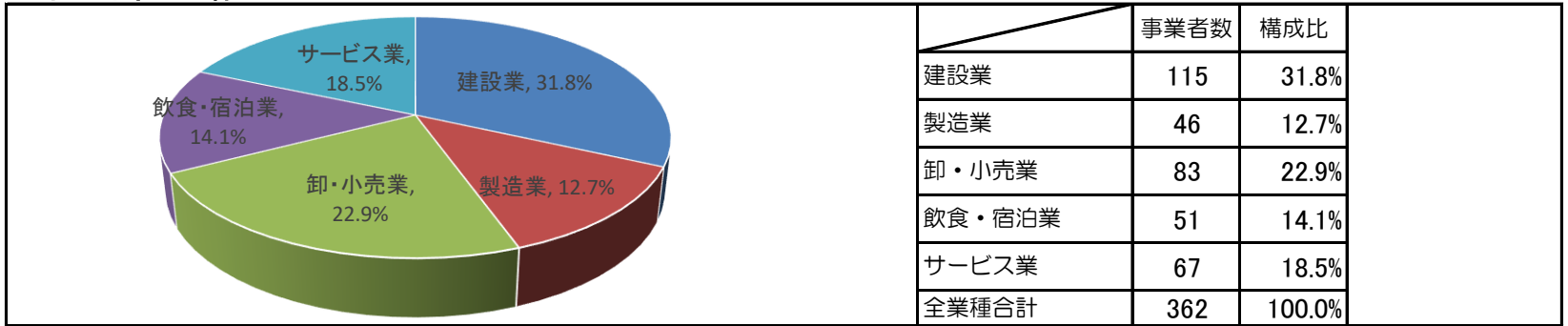


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R6.4.1~R6.6.30) 川西地区

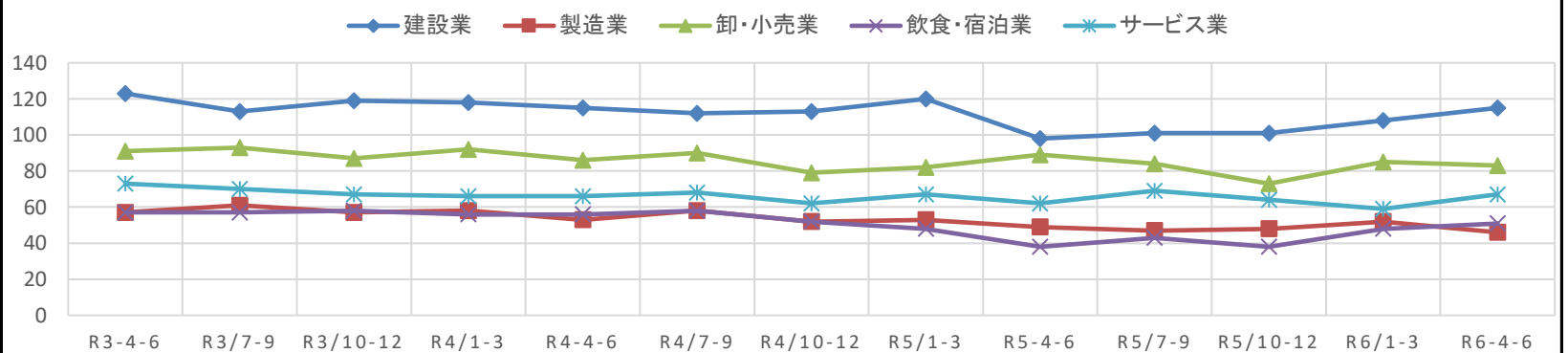
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



業種別調査事業所数の推移(市内全体)



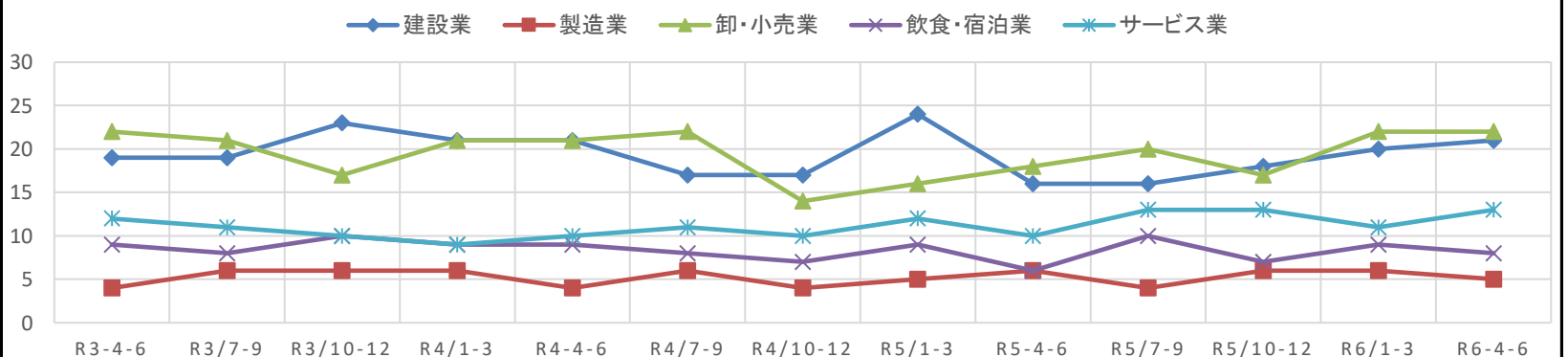
<コメント>

今回の調査は十日町市内362事業所から回答を得られた、前回よりも10事業者増加した。業種別に見ると、建設業、飲食・宿泊業、サービス業の回答数が増加した。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

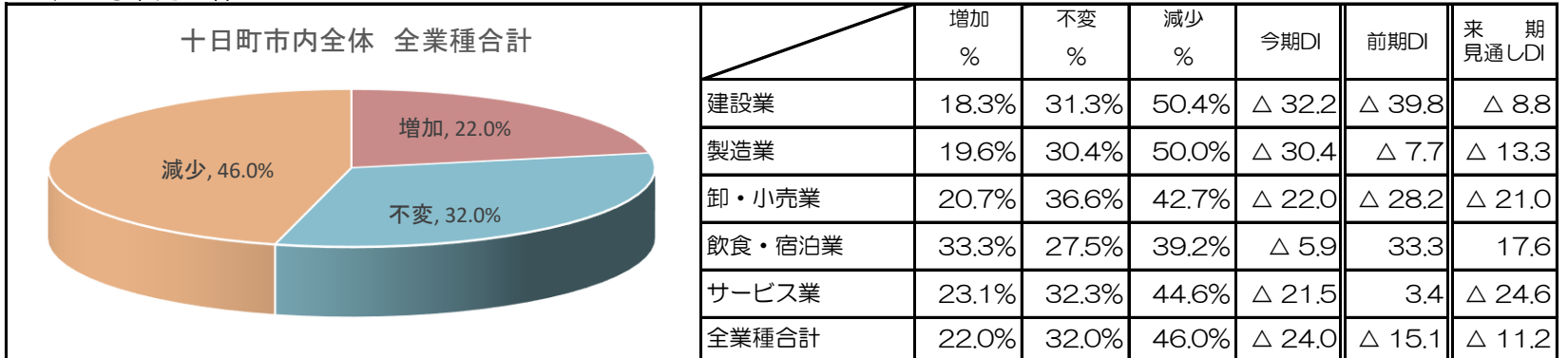
今回の調査は、川西地区69事業所から回答を得られ、前回よりも1事業者増加している。建設業とサービス業の回答数が増加した。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

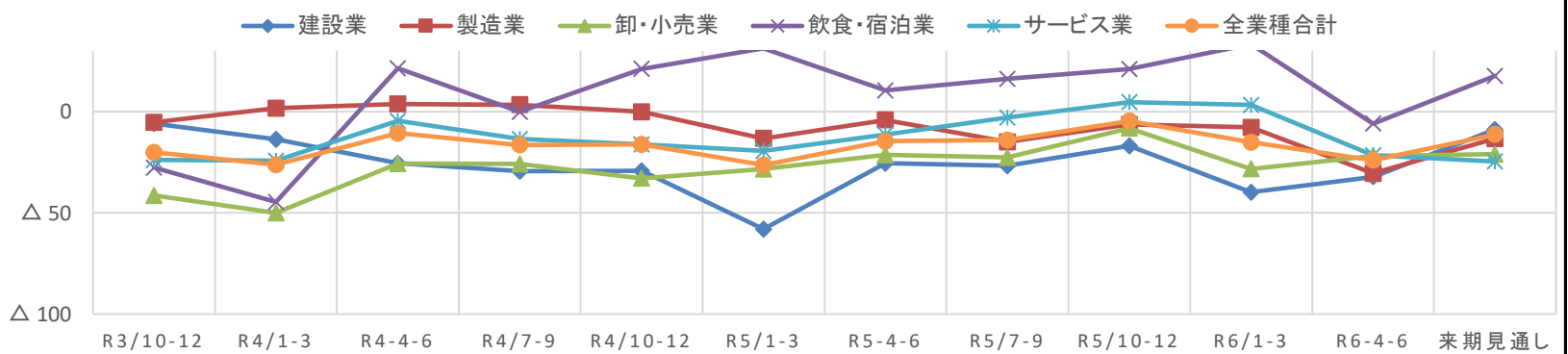
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



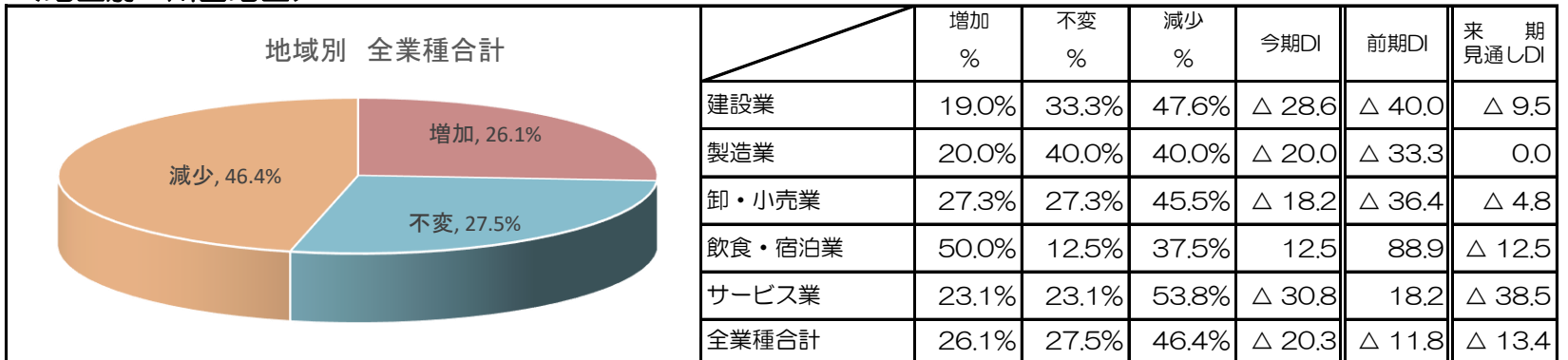
業種別売上の推移（市内全体）



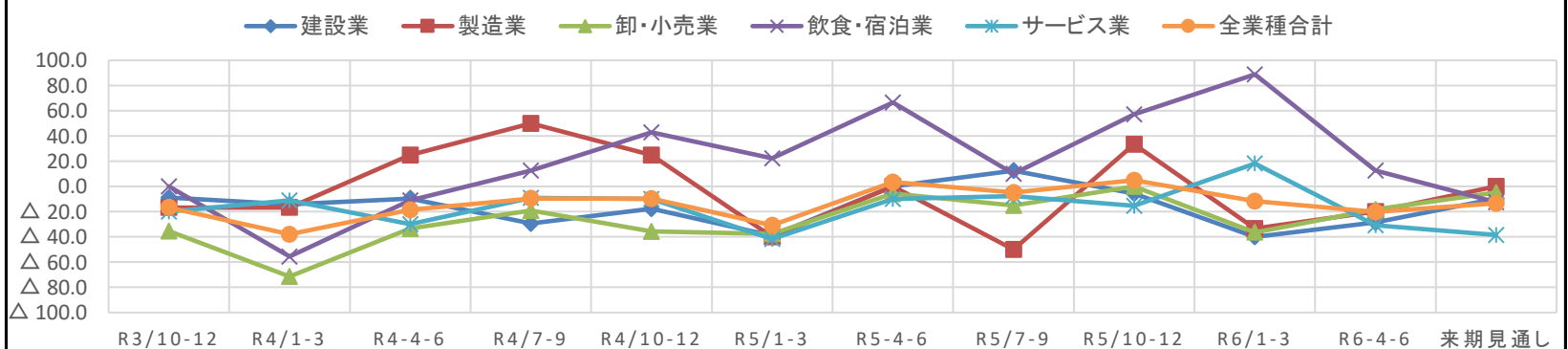
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△24.0ポイントで、前回調査時よりも8.9ポイント減少した。飲食・宿泊業及びサービス業で大幅な減少となっている。来期については、特に建設業及び飲食・宿泊業において大幅な増加が見込まれる。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



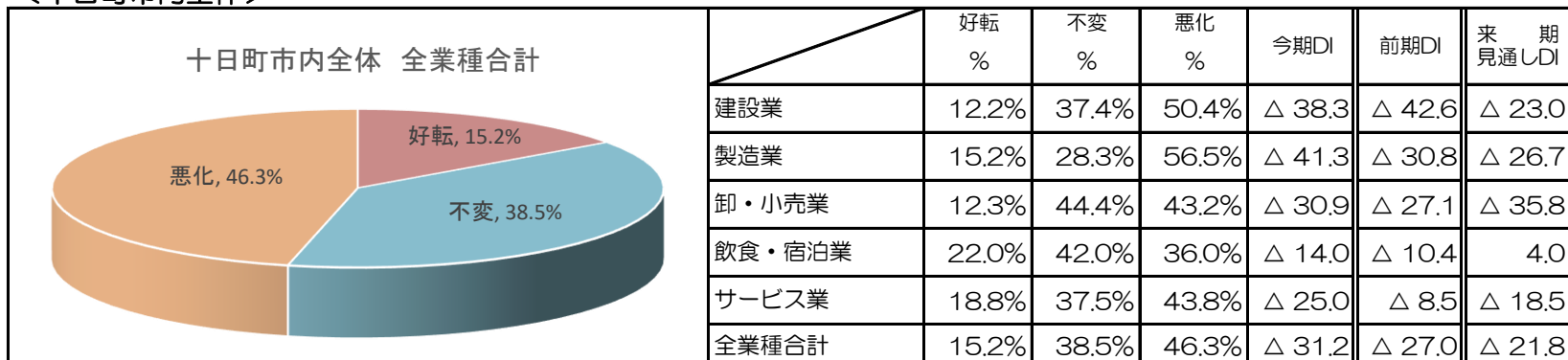
<コメント>

川西地区の今期の売上状況は、全業種DIで△20.3ポイントで、前回調査時よりも8.5ポイント減少した。建設業、製造業、卸・小売業においてはDI値は増加したが、それ以外の業種ではDI値の大幅な減少が見られた。来期の見通しでは、飲食・宿泊業及び宿泊業でDI値の減少が続くと見込まれる。

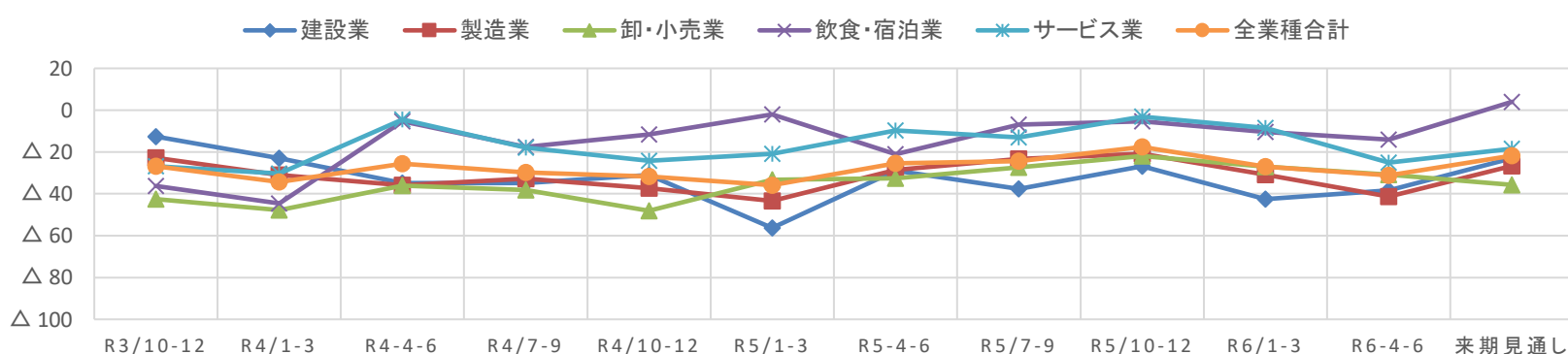
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



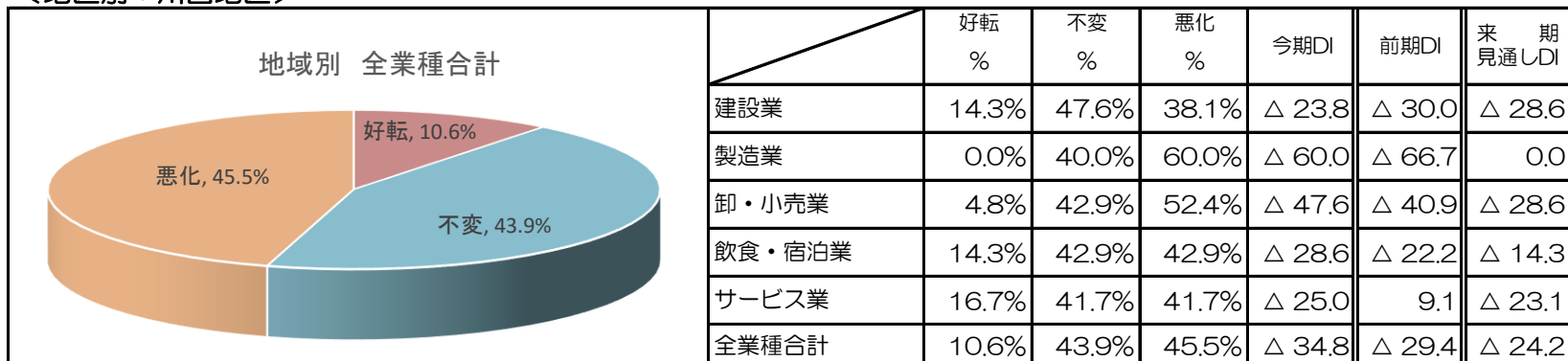
業種別採算の推移(市内全体)



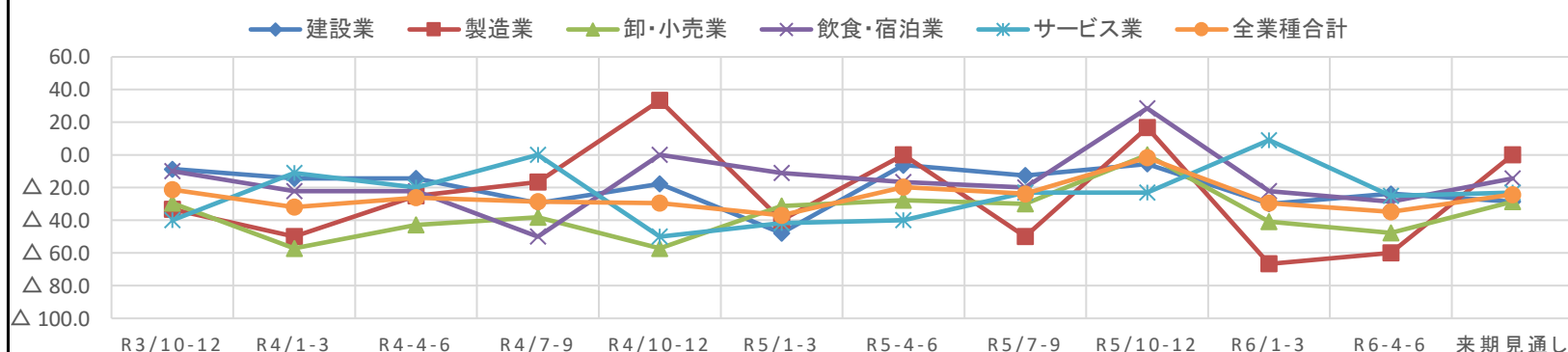
<コメント>

十日町市内の今期の採算状況は、全業種DI値で△31.2ポイントで、前回調査時よりも4.2ポイント減少した。業種別に見ると、建設業のみDI値が好転している。来期の見通しについては、卸・小売業以外の業種で好転の見通しである。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



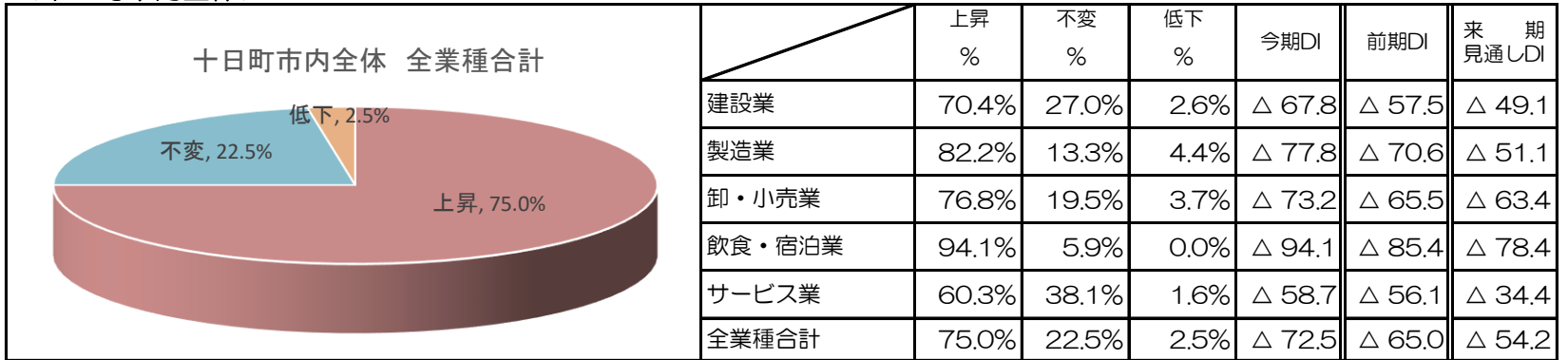
<コメント>

川西地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△34.8ポイントで、前回調査時よりも5.4ポイント悪化となっている。特に、サービス業で大きく悪化している。来期は、建設業以外で好転の見通しとなる。

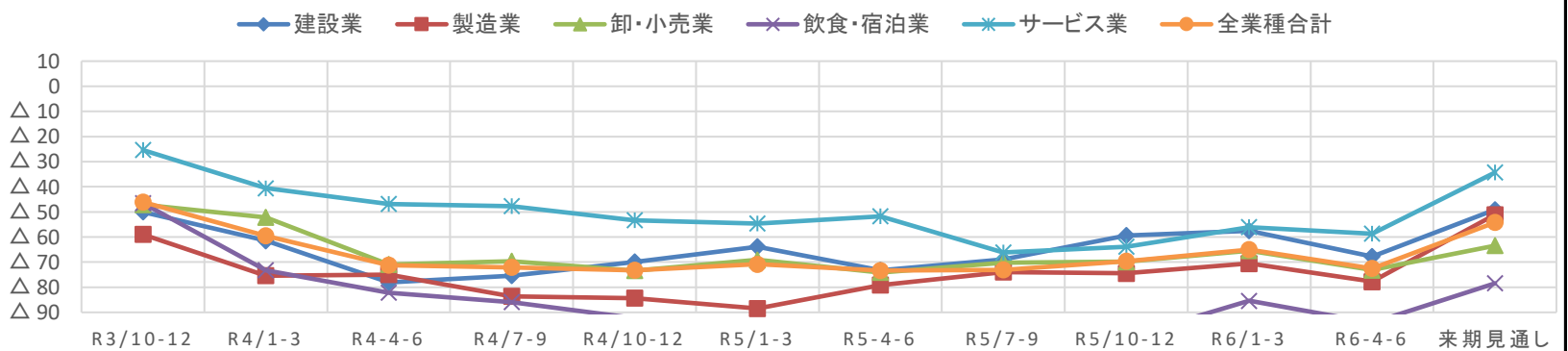
3. 仕入単価について

・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



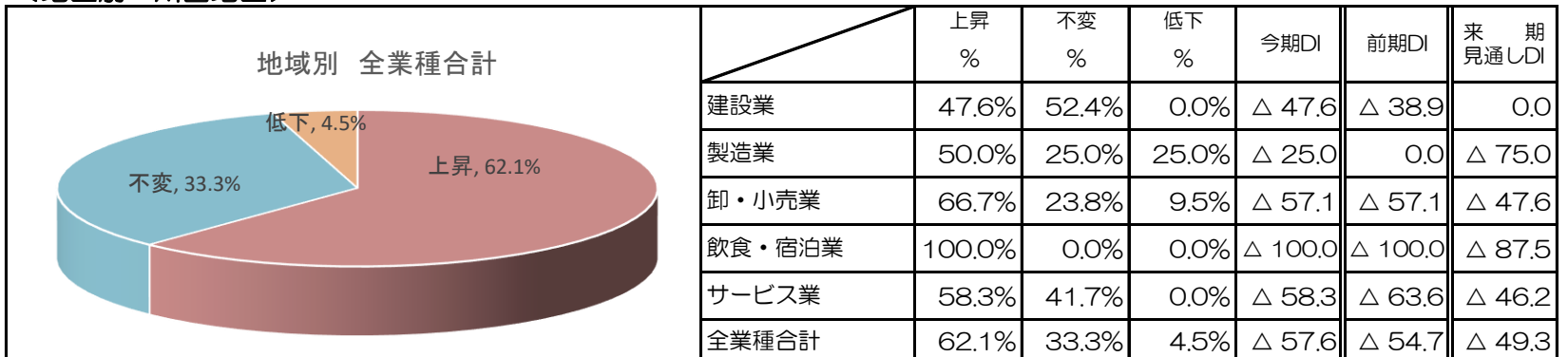
業種別仕入単価の推移(市内全体)



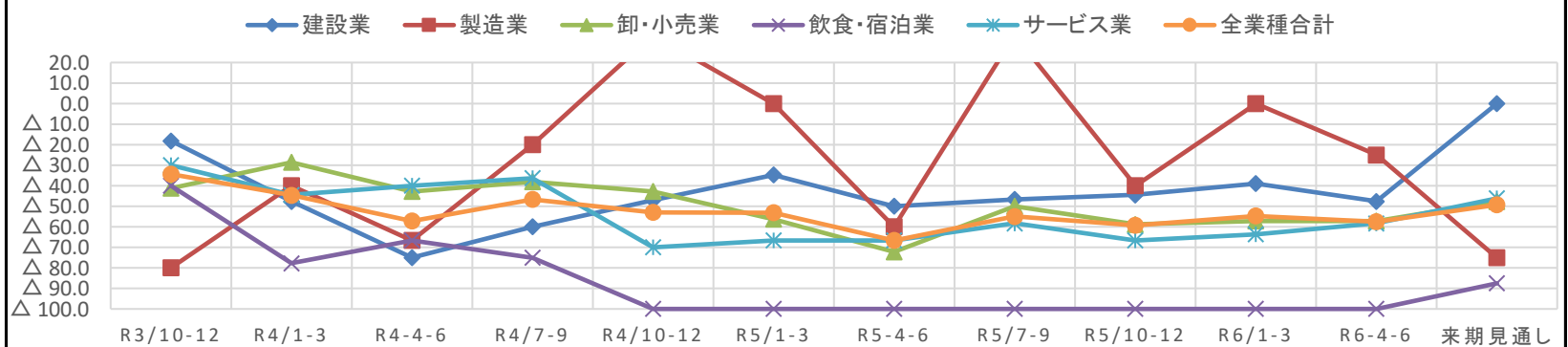
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△72.5ポイントで、前回調査時よりも7.5ポイントの仕入単価上昇となった。来期見通しは、全業種で今期よりも仕入単価が減少する見込みである。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



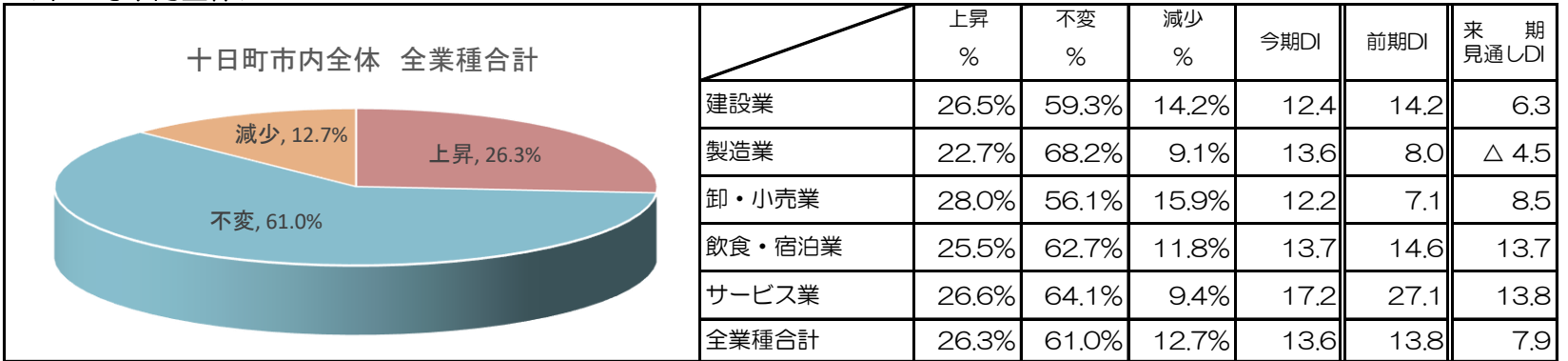
<コメント>

川西地区の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△57.6ポイントで、前回調査時よりも2.9ポイントの仕入単価上昇となった。来期の見通しについては、製造業以外で仕入れ単価低下が見込まれる。

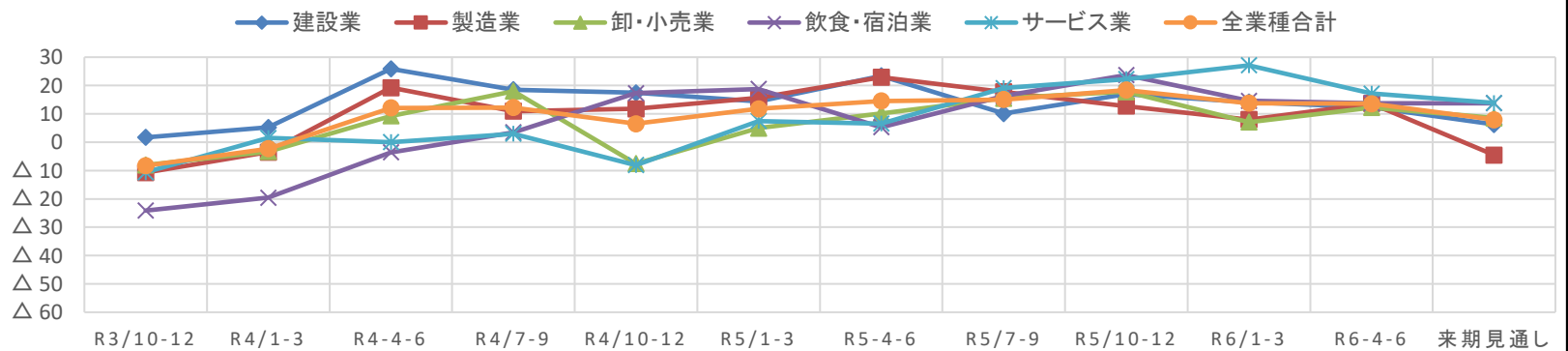
4. 販売（客）単価について

・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



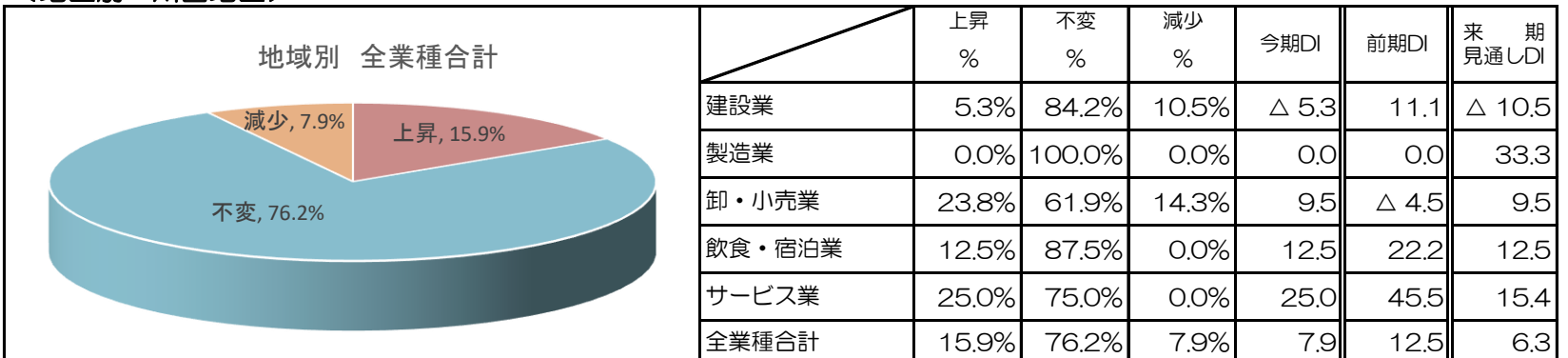
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



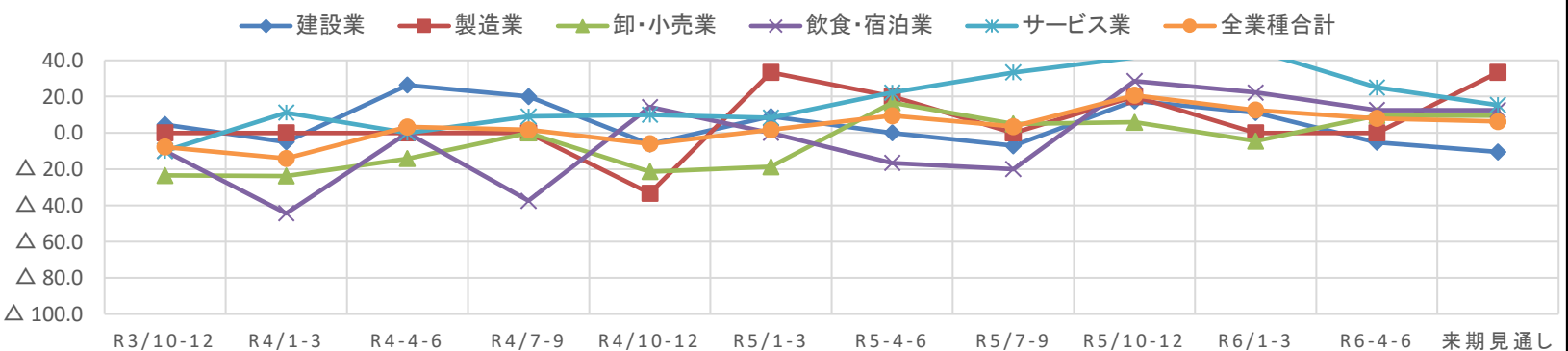
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で13.6ポイントで、前回調査時よりも0.2ポイント減少した。製造業と卸・小売業で上昇した。来期の見通しについては飲食・宿泊業では横這い、それ以外の業種では減少する見込みである。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



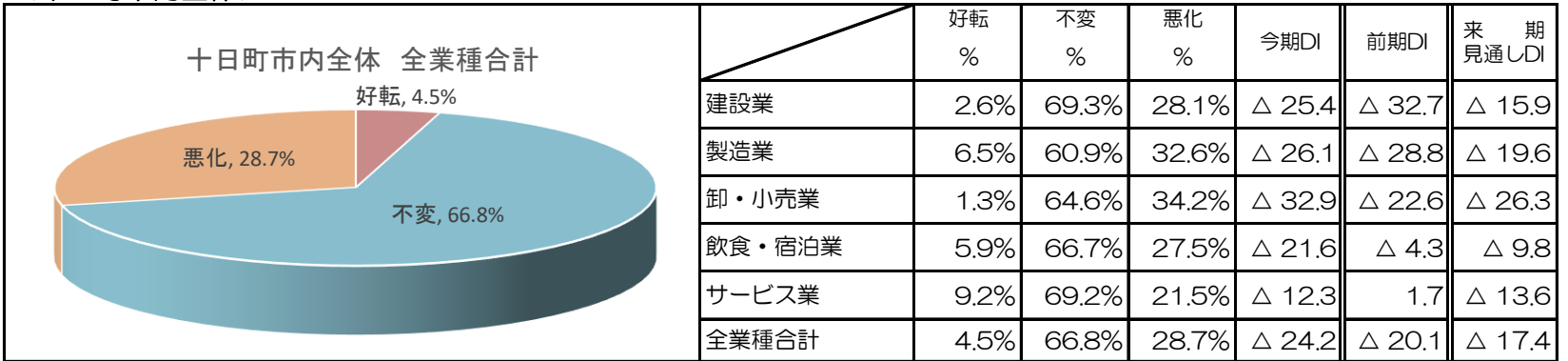
<コメント>

川西地区全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で7.9ポイントで、前回調査時よりも4.6ポイント減少した。卸・小売業のみ上昇したが、それ以外の業種では横這いまたは減少となった。来期の見通しについては、製造業で大きく上昇する見込みだが、それ以外の業種では減少する見込みである。

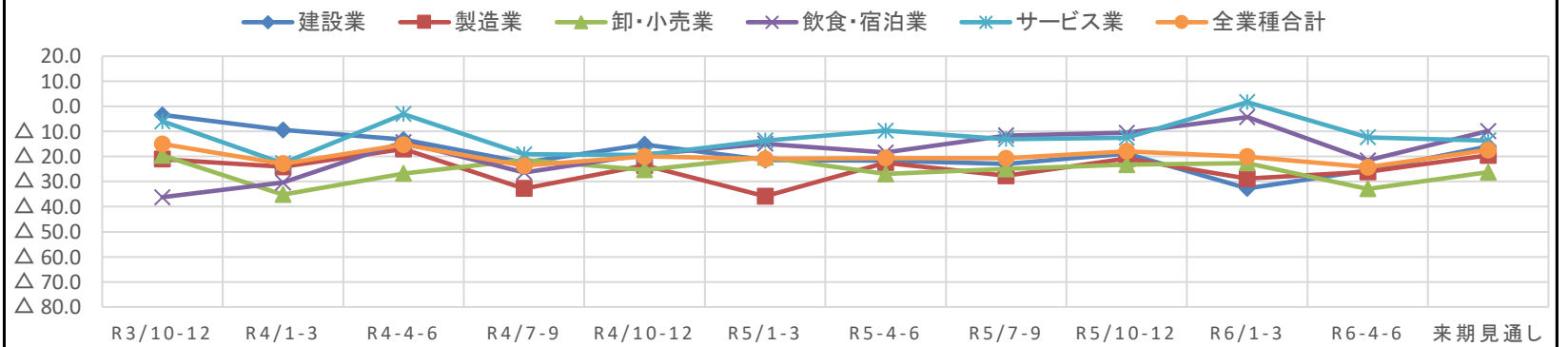
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



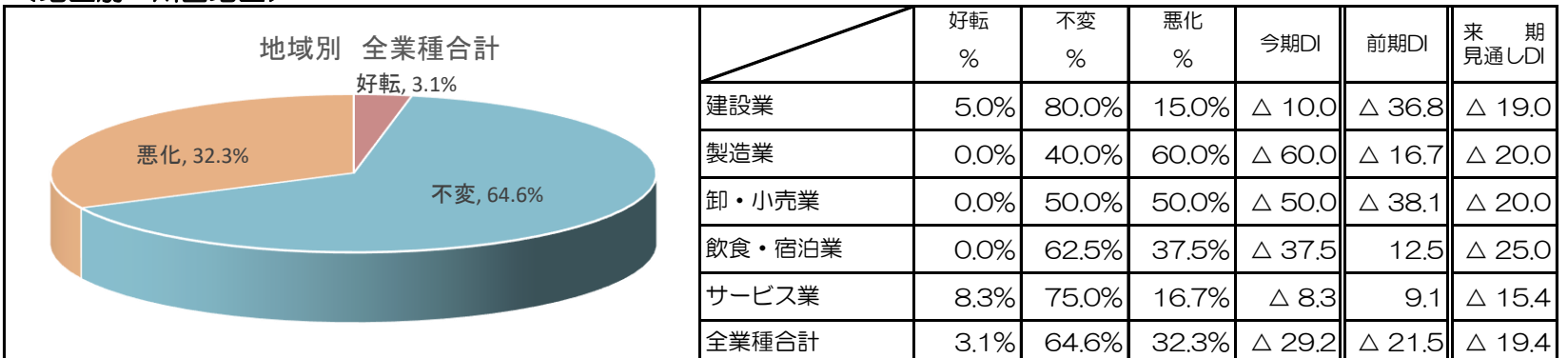
業種別資金繰りの推移(市内全体)



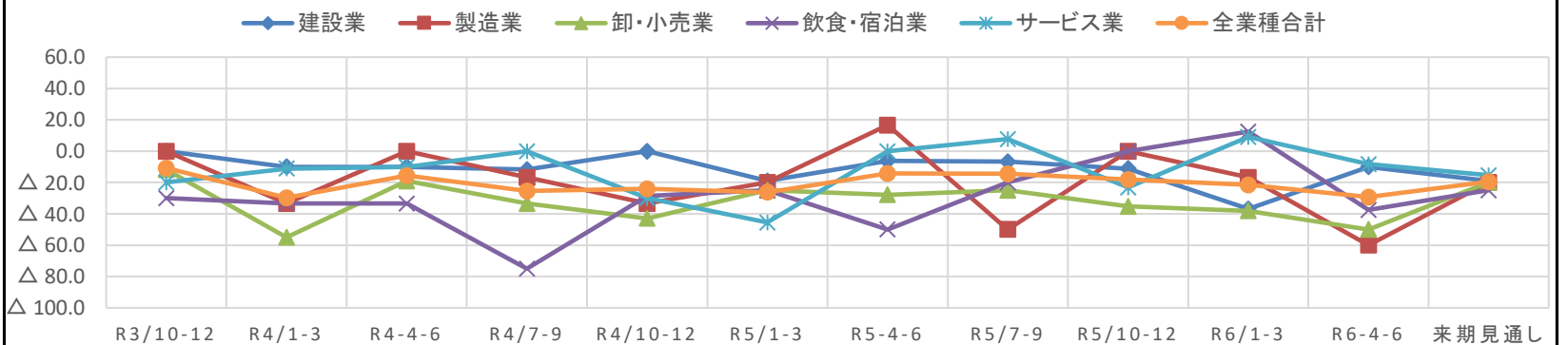
<コメント>

十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△24.2ポイントで、前回調査時よりも4.1ポイント減少した。業種別に見ると、卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業で悪化となった。来期の見通しについては、サービス業以外で好転の見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



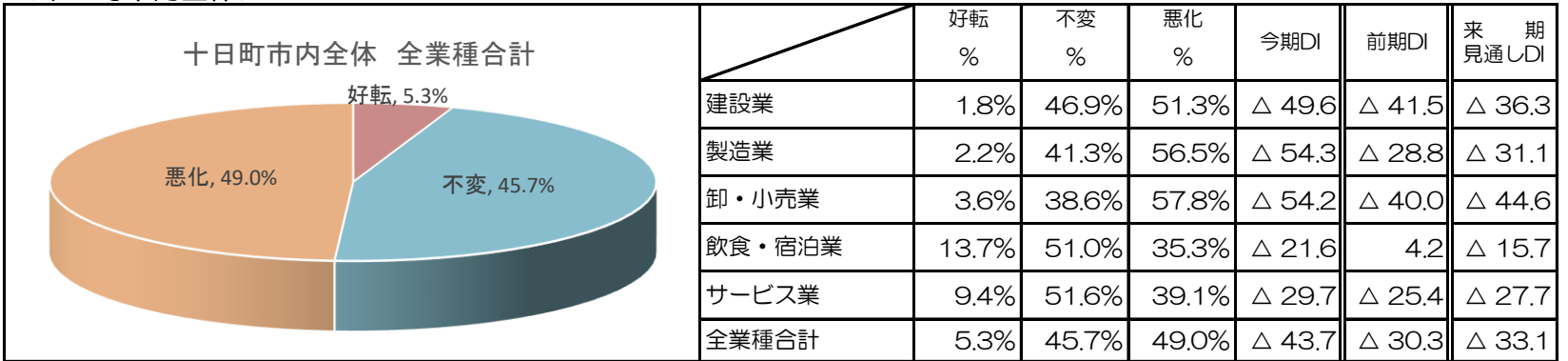
<コメント>

川西地区における今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△29.2ポイントで、前回調査時よりも7.7ポイント悪化した。特に製造業で大幅な悪化となった。来期の見通しについては、建設業とサービス業で悪化となる見通しである。

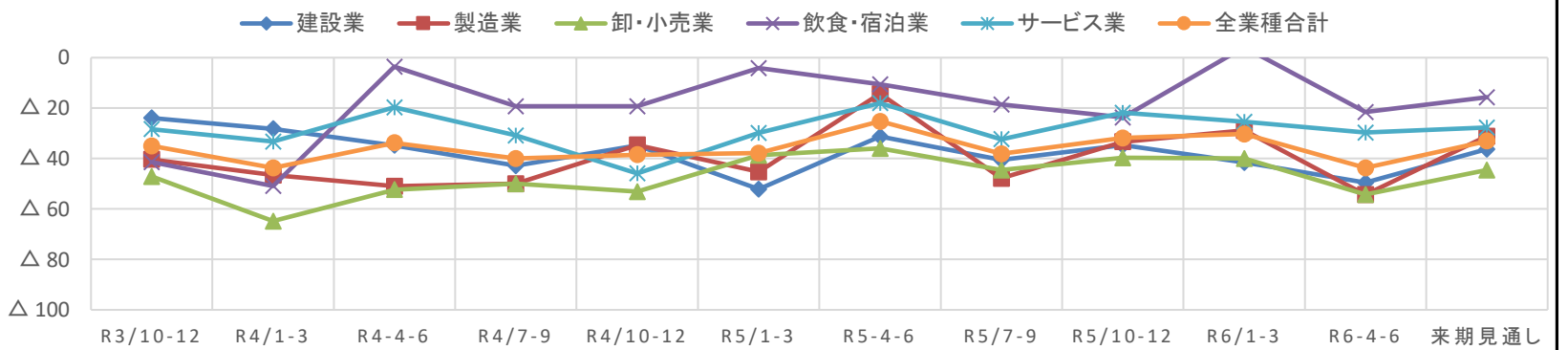
6. 景況判断について

・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



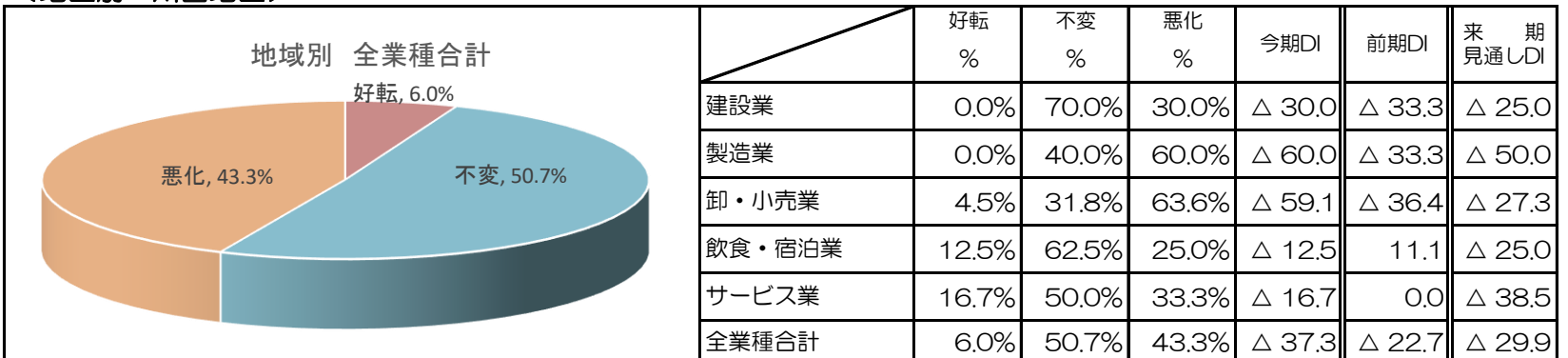
業種別景況判断の推移(市内全体)



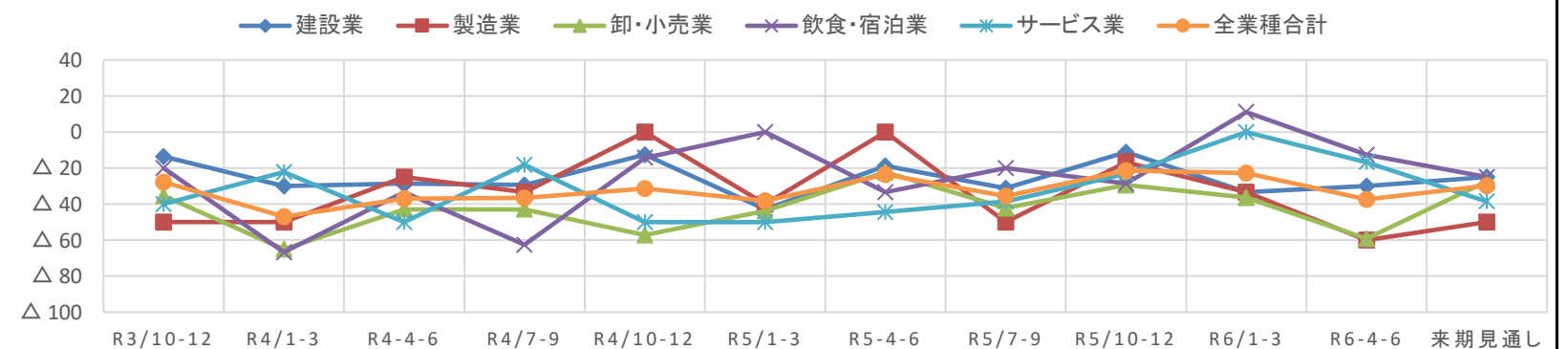
<コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△43.7ポイントで、前回調査時よりも13.4ポイント減少している。全業種で悪化となった。来期見通しは、全業種で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



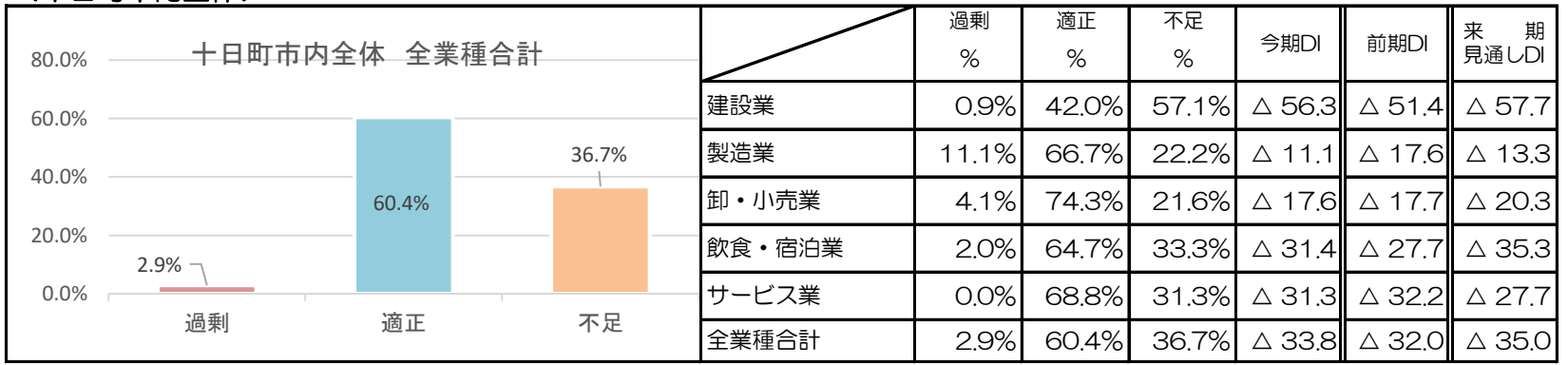
<コメント>

川西地区の今期の景況判断の推移は、全業種DI値で△37.3ポイントで、前回調査時よりも14.6ポイント悪化した。飲食業・宿泊業とサービス業で大幅な悪化傾向が見られた。来期の見通しについては、飲食・宿泊業及びサービス業は悪化の見通し、他の業種は好転の見通しである。

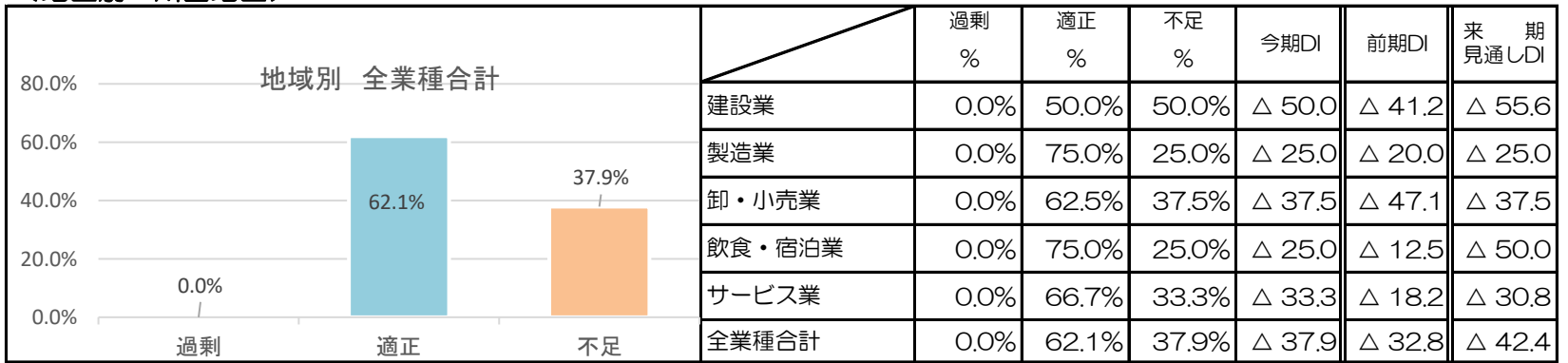
7. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞



＜地区別：川西地区＞

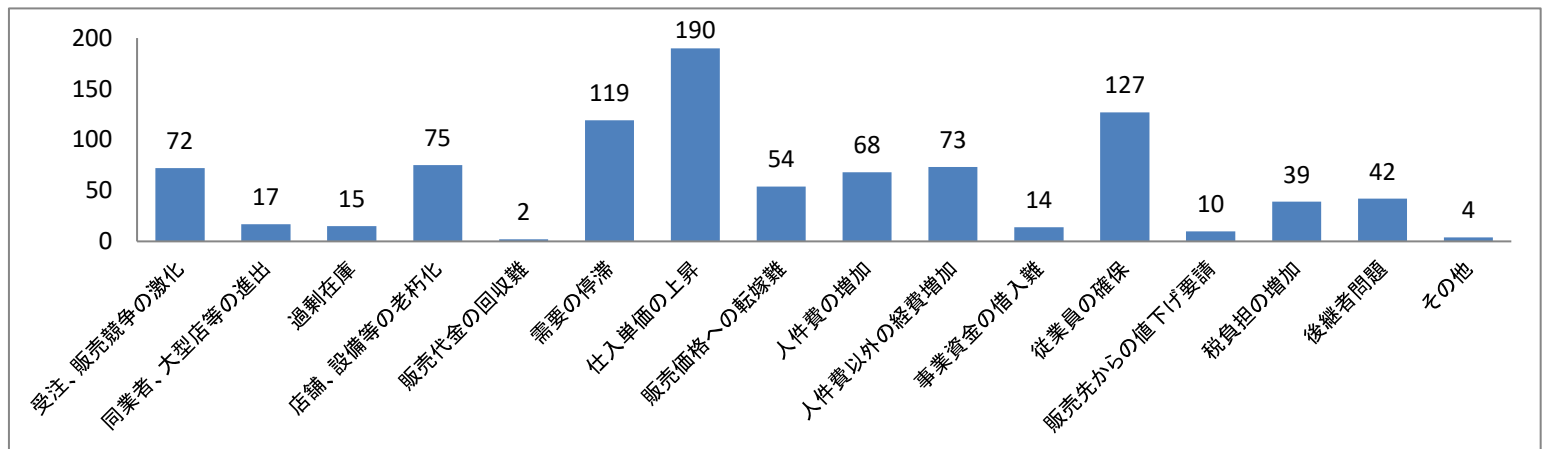


＜コメント＞

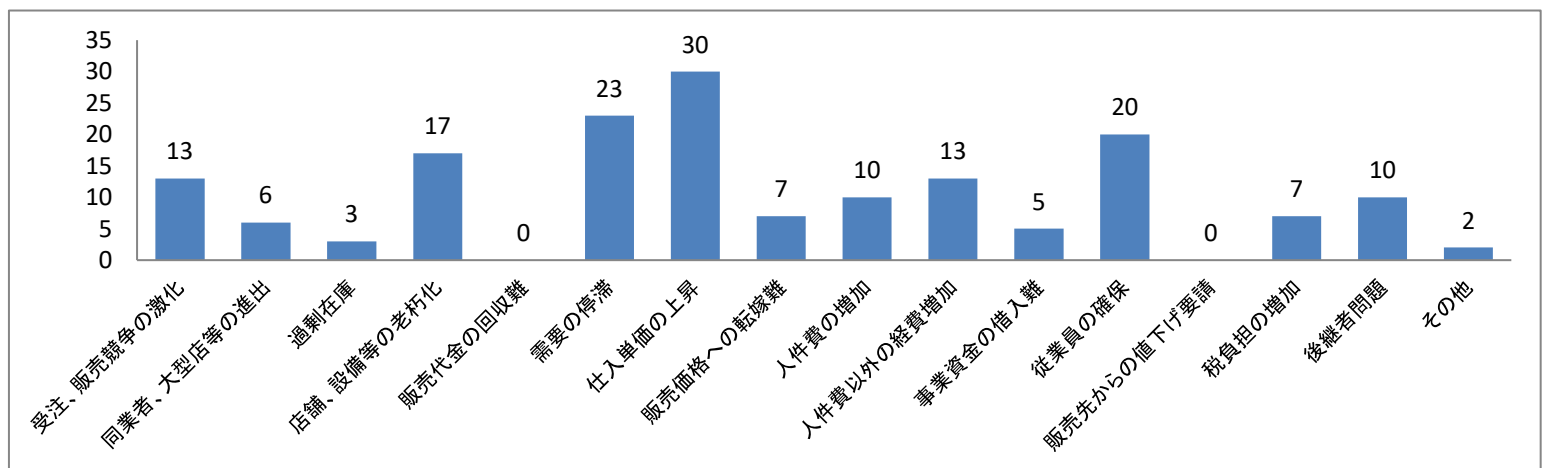
今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が0.3%増加、適正回答が2.4%減少、不足回答は2.1%増加であった。川西地区の状況は、前回調査時より過剰回答が1.7%減少、適正回答が1.7%減少、不足回答は3.4%増加であった。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



＜コメント＞

今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」となり、前回調査と比較して順位の変動はあるものの、上位の3項目に変化はなかった。川西地域の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、今回新たに需要の停滞が問題点として挙げられた。

9. 地区の景況概要

・ 4月～6月時点での全体概況は

<p>【建設業】 「売上DI値△28.6」、「採算DI値△30.0」、「資金繰りDI値△23.8」と、売上、採算の項目で前回調査時よりも好転の傾向となった。今後の見通しについては、「販売単価DI値△10.5」、「資金繰りDI値△19.0」等と悪化予測である。売上については「売上DI値△9.5」とマイナス値であるものの好転傾向と予測される。 経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」、次いで「従業員の確保」が多数を占めている。</p>
<p>【製造業】 「売上DI値△20.0」、「採算別DI値△60.0」、「販売単価DI値0.0」、と、売上、採算、販売単価、で前回数値よりも好転となった。一方で、資金繰りが悪く、「資金繰りDI値△60.0」と前回よりも大幅な悪化を示した。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」の他に「店舗・設備の老朽化」が列挙された。 今後の見通しについては、景況判断DIにおいて悪化予測だが、それ以外の項目では好転予測となっている。</p>
<p>【卸・小売業】 「売上DI値△18.2」、「販売単価DI値△9.5」と、前回と比較して好転した項目がいくつか見られた。一方で、経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」、「受注、販売競争の激化」、「需要の停滞」、が多く挙げられ、仕入単価について悩みを抱える事業者が未だ多いことが見受けられる。来期の見通しについては、採算DI、販売単価DI、景況判断DIにおいて好転予測となっているが、今回調査同様引き続き厳しい状況が続くと見込まれる。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 「販売単価DI値△25.0」と、販売単価の項目については好転となったが、それ以外の況判断、売上などの項目では悪化を示した。 今後の見通しについては、売上DI、景況判断DIにおいて減少の見込みである。 経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」、「店舗、設備等の老朽化」が多数を占めた。</p>
<p>【サービス業】 「売上DI値18.2」、「採算DI値9.1」、「仕入単価DI値△63.6」、「販売単価DI値41.7」と、売上、採算、仕入単価、販売単価ともに改善された。 今後の予測については、売上DI、採算DI、販売単価DIにおいて悪化予測である。 経営上の問題点は、「店舗、設備の老朽化」、「需要の停滞」、「従業員の確保」が多く挙げられた。</p>